

第50期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日

p.01 トップメッセージ

高見澤 和夫

p.02 主要製品の概況

p.04 トピックス

TOPICS
1

ホームドアシステム納入

TOPICS
2

東京地下鉄様向け新型ICチャージ専用機納入

TOPICS
3

新型地震計「スマート地震計」販売開始

p.05

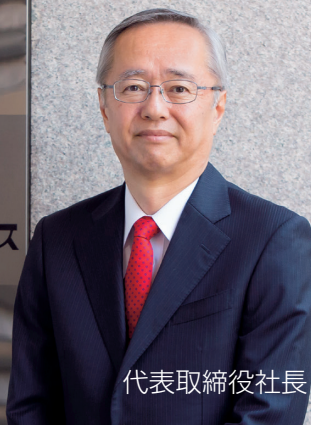
決算データ

p.06

会社の概要

- 株式の状況
- 役員の状況

世の中に必要不可欠な
会社を目指して



代表取締役社長

高見澤和夫

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第50期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかに回復基調が進んでいるものの、輸出や生産の一部に弱さがみられ、製造業を中心に業況判断の慎重さが増してくるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループにおきましては「T P P本部」（T P P：Test Product Projectの略）を新設し、主に開発・試作管理を行う立場から、設計から生産に掛かる期間の短縮と原価の低減を目指した取り組みを行ってまいりました。

この結果、売上面につきましては、主に交通システム機器部門において、主力製品である出改札関連機器の大型案件対応が始まったことなどにより、当連結会計年度の売上高は118億8千9百万

円（前連結会計年度比13.4%増）となりました。

また損益面につきましては、原価の低減、経費の圧縮に努めてまいりましたが、受注損失見込み額9億5千5百万円を計上したことにより、営業損失6億1千9百万円（前連結会計年度は1億5千3百万円の利益）、経常損失6億6千万円（同1億6千8百万円の利益）、親会社株主に帰属する当期純損失4億8千6百万円（同2千5百万円の利益）となりました。

当社グループは、2019年10月1日にお蔭様で創立50周年を迎えます。創業以来受け継がれている当社独自のコア技術を活かし、今後も交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器を中心に、社会インフラの分野で「世の中に必要不可欠な会社」を目指して邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

主要製品の概況



交通システム機器

売上高

55億1千9百万円

前期比43.3% 

交通システム機器部門では、乗車券自動券売機・自動精算機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの可動式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当期におきましては、出改札関連機器の大型案件対応が始まったこと、また、ホームドアの売り上げが増加したことにより、売上高は55億1千9百万円となり、前期と比べ43.3%の増加となりました。



東京地下鉄様 銀座線上野駅



メカトロ機器

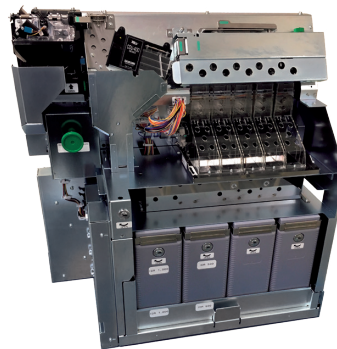
売上高

26億4千1百万円

前期比4.9% 

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるT (Ticket:チケット)、B (Bill:紙幣)、C (Coin:硬貨)、C (Card:カード) 処理技術に応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する装置メーカーに販売しております。

当期におきましては、海外向けのユニット製品は堅調に推移しましたが、主に国内向け硬貨処理装置の売り上げが減少したことにより、売上高は26億4千1百万円となり、前期と比べ4.9%の減少となりました。



グローバルコインユニット



特機システム機器

売上高

15億8千3百万円

前期比8.2% 

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティ管理を目的に設置されるセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行う「入退場管理システム」も扱っております。

防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊

が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムに関する製品として、電磁式ラックや自動精算機を扱っております。また、グループ会社である(株)高見沢サービスにおきましては、駐輪場管理業務を行っております。

当期におきましては、主に防災計測システム機器の売り上げが減少したことにより、売上高は15億8千3百万円となり、前期と比べ8.2%の減少となりました。



精算機

電磁ラック

駐輪場管理システム



セキュリティゲート



01 ホームドアシステム納入

当社は、「腰高式ホームドア」を京王電鉄様と東京都交通局様の共同使用駅である新宿駅でご採用いただき、2018年11月より4番線ホーム、2019年2月より5番線ホームでそれぞれ運用が開始されました。また、京王電鉄様 飛田給駅（味の素スタジアム前）2番線ホームでもご採用いただき、2019年3月より運用が開始されました。



新宿駅 4 番線ホーム

02 東京地下鉄様向け新型 ICチャージ専用機納入

当社は、東京地下鉄様に新型 ICチャージ専用機をご採用いただきました。

この機器は、トレイ型の IC読み取り部を採用したことにより、ICカードを財布やパスケースから出さずにスピーディーにチャージできるのが特長で、7ヶ国語（日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、タイ語）にも対応しています。2018年10月より導入が開始され、上野駅・東京駅・新宿駅をはじめ、全34駅に設置されました。



日比谷線 秋葉原駅

03 新型地震計「スマート地震計」販売開始

当社は、2018年6月に開催された「地球惑星科学連合2018年大会」において、より精度の高い緊急地震速報システムを構築するためには、多数の計測震度計を高密度で設置することなどが必要との研究結果を発表しました。これを実現するため、気象庁震度検定対応の精度はそのままに、従来機と比べて設置性・汎用性に優れ、低コストの地震計を新たに開発しました。今後は消防関連機関、交通インフラ、公共設備管理会社（ダム、ライフライン等）などに向けて販売を行ってまいります。



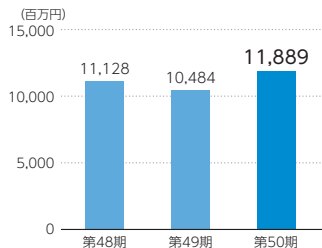
スマート地震計

連結財務ハイライト

売上高

11,889百万円

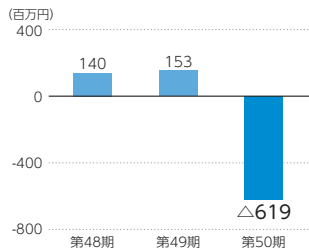
(前期比13.4%増)



営業利益

△619百万円

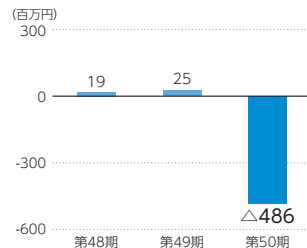
(前期は153百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

△486百万円

(前期は25百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 第49期	当期 第50期
流動資産	9,848	10,590
固定資産	5,141	5,292
資産合計	14,990	15,883
流動負債	8,193	9,887
固定負債	4,010	3,760
負債合計	12,204	13,647
株主資本	2,650	2,119
その他の包括利益累計額	135	115
純資産合計	2,786	2,235
負債純資産合計	14,990	15,883

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第49期	当期 第50期
売上高	10,484	11,889
売上総利益	2,608	1,744
営業利益または損失 (△)	153	△619
経常利益または損失 (△)	168	△660
親会社株主に帰属する当期純利益または損失 (△)	25	△486

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第49期	当期 第50期
営業活動によるキャッシュ・フロー	166	445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515	△161
現金及び現金同等物の増減額	△488	206
現金及び現金同等物の期首残高	3,198	2,710
現金及び現金同等物の期末残高	2,710	2,917

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

会社の概要

会社の概要 (2019年3月31日現在)

商号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY, LTD.
設立	1969年10月1日
資本金	700,700,000円
従業員	412名 (単体) 593名 (連結)

■主な事業内容

区分	主要製品
電子制御機器	交通システム機器 自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ICカード入金機、ICカード発売機(駅務用)、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
	メカトロ機器 硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、OEM製品開発 他
	特機システム機器 パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽、各種計測器 他

役員の状況 (2019年6月27日現在)

代表取締役社長	高見澤 和 夫	
専務取締役	辻川 秀 邦	
常務取締役	中村 淑 寛	
常務取締役	岩岡 修	
取締役	竹田 一 雄	
取締役	花岡 伸 一	
取締役	高橋 利 明	
取締役	下里 雄 二	
取締役	松浦 秀 昭	社外取締役
取締役	木村 敦 則	社外取締役 独立役員
常勤監査役	大井 明 典	
常勤監査役	浮田 健	
監査役	倉田 民 男	社外監査役 独立役員
監査役	田 中 勝	社外監査役

株式の状況 (2019年3月31日現在)

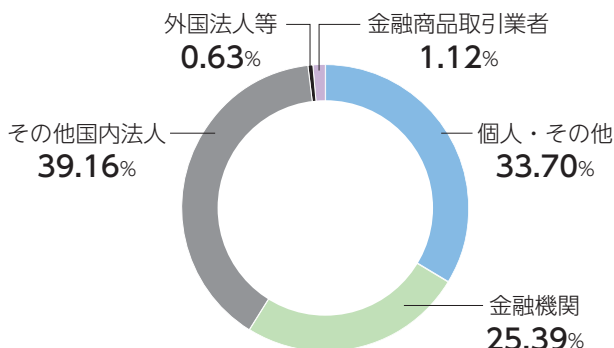
●発行可能株式総数	14,800,000株	
●発行済株式の総数	4,525,000株	
●株主数	2,075名	
●大株主		
株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口 再信託受託者資産管理サービス 信託銀行株式会社	519	11.81
富士通株式会社	450	10.23
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	232	5.30
I D E C株式会社	225	5.12
株式会社みずほ銀行	175	3.98
高見澤和夫	166	3.79
株式会社三菱UFJ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27

(注)1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社」名義の株式519千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については富士電機株式会社が指図権を留保しております。

2. 当社は、自己株式を126,369株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 https://www.tacy.co.jp

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

ホームページのご案内

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を掲載しておりますので、ご利用ください。

<https://www.tacy.co.jp>

高見沢サイバネティックス

検索



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5
TEL : 03-3227-3361 (代表)

UD
FONT



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。